

西多賀小教育目標 「健康でたくましく、心豊かで、意欲的に学ぶ児童の育成」
協働型学校教育目標「互いに助け合えるあたたかい心をもつ児童の育成」

12月号

仙台市立西多賀小学校
令和2年11月25日
在籍児童数：501名

TEL245-5355 FAX307-1604

ウェブページURL：http://www2.sendai-c.ed.jp/~nisitaga/



学校だより

師走 今年を振り返って！



朝晩の寒さに、冬の訪れを強く感じさせられます。今年度は、コロナウィルス感染症対策のため、6月からのスタートでしたが、子供たちは、様々なことに挑戦し、確実に力を付けてきています。今年もあと1か月余りとなりましたが、1年をしっかりと振り返り、伸びの実感と更なる向上を図れるよう指導していきたいと思います。今後とも本校の教育活動へのご理解・ご支援をお願いいたします。

さて、「仙台市いじめ実態把握調査」へのご協力ありがとうございました。現在、回収・確認中です。この資料を基に、11月下旬から12月にかけて、担任が全児童と個別面談を実施いたします。また、お子さんのことで気になることがありましたら、アンケートに限らずいつでもお電話等でご連絡ください。

また、毎年行っております学校評価ですが、協働型重点目標を中心にこれまでを振り返っていただきたいと思っております。後日お配りいたしますので、ご記入いただき、封筒に入れてご提出ください。ご協力よろしくをお願いいたします。

12月・1月の主な行事予定

12月

- 1日(火) 児童面談⑤ SC来校日
- 2日(水) 代表委員会 児童面談⑥
- 3日(木) 児童面談⑦
- 4日(金) 5年生弁当持参日
- 7日(月) 児童面談⑧
- 8日(火) 給食まつり① 児童面談⑨
SC勤務日
- 9日(水) 給食まつり②
かしわ学級・2年なかよし交流会
- 10日(木) 集金日 給食まつり③ 児童面談⑩
かしわ学級・1年なかよし交流会
- 11日(金) 児童面談⑪
- 14日(月) 6年理科特別授業
クラブ活動(クラブ紹介の準備)
- 15日(火) 6年理科特別授業 SC勤務日
- 18日(金) ALT来校日
- 21日(月) クラブ紹介ビデオ放送(昼の放送にて)

(~23日)

- 22日(火) SC勤務日
- 23日(水) 給食最終日
- 24日(木) 全校弁当の日(普通授業)
4年かしわ太鼓発表会
- 25日(金) 冬休み前朝会 全校4校時限
ALT来校日
- 29日(火)~1/3(日)まで学校閉庁となります。

1月

- 6日(水) 冬休み明け朝会
おにぎりの日 全校4校時限
- 7日(木) 弁当の日(普通授業)
- 12日(火) SC来校日
- 13日(水) 集金日
- 18日(月) 委員会活動
- 19日(火) 給食朝会(給食週間)
5年運動器健診
- 22日(金) ALT来校日
- 25日(月) クラブ活動(最終)

★★冬季の帰宅時刻が変わりました★★

11月24日(火)から2月まで、下記のとおり冬期の帰宅時刻に変更となっております。暗くなるのがずいぶん早くなりましたので、帰宅後に遊びに出掛ける時には、早めに帰宅するようにお声掛けください。

○帰宅時刻 4時30分



🍀🍀 学校へのご協力ありがとうございました！ 🍀🍀

感染症防止対策のため、様々な制限がある中、保護者や地域の皆様には、今年も学校へのご協力をいただきました。

11月16日には、緑化委員会の子供たちとPTAの保護者の方で花壇の花の苗植え「花いっぱい運動」を行いました。そのほか、就学時健診の際のお手伝い、朝の挨拶運動、家庭科のミシンボランティア、プールの清掃、校外学習の付き添いなど多くのお手伝いをいただきました。また、スクール・サポート・スタッフの方々には、放課後に毎日、トイレや階段の手すりの消毒作業を行っていただいています。11月27日には、社会学級の皆さんによるお掃除ボランティアで、視聴覚室を掃除していただく予定です。皆様のご支援により、子供たちは整備された学習環境の中で、よりよい学習活動を行うことができます。多くの方々のおかげで、学習ができていることをしっかりと子供たちに伝え、感謝の気持ちを持って生活するように話しています。ありがとうございました。



「花いっぱい運動」



「校外学習の付き添い」



「スクール・サポート・スタッフの皆さん」



「プール清掃」



「朝の挨拶運動」

♡ 学校評価 ♡

今年度の学校の協働型学校評価の重点目標について、地域・保護者・児童にアンケート調査を実施いたします。12月に、保護者、地域の方々に用紙をお配りしますので、期限までの提出にご協力ください。アンケート結果は、校内教職員による評価及びお世話になっている地域の皆様へのアンケート結果とともに、1月からの教育活動及び次年度の教育活動の計画立案に生かしてまいります。

《令和2年度 協働型学校評価 重点目標》「お互いに助け合えるあたたかい心をもつ児童の育成」

♡ 転居等に伴う転出についてのお願い ♡

転居等で転出のご予定がある場合には、速やかに担任を通してご連絡をお願いいたします。特に、現3年生は、クラス数の増減に関わる人数で推移しています。「まだはっきりとは決まっていないが、転出の可能性はある。」など確定していない場合でも必ずご連絡ください。ご協力をお願いいたします。

西多賀小学校のみなさんへ (かん字がむずかしいときは おうちの方に読んでもらってください)

いつもお話を読んでいただいております。最近、児童のみなさんから感想文をいただいたり、保護者や地域の方から励ましのお言葉をいただいております。本当にありがとうございます。たわいもないお話ですが、お読みいただければ幸いです。いつもありがとうございます。

校長先生のむかし話⑦ ～ ライバルは マツモムシ ～

板垣 和幸

みなさんは、「マツモムシ」っていう虫を知っていますか？虫がきらいな人には、まったく興味がないでしょうし、今はあまり見かけなくなった虫かもしれません。マツモムシは水の中で生きている虫で、アメンボのように水面にういて生活をしています。ただアメンボとちがうのは、アメンボはスケートのように水面をすいすい歩くように動きますが、アメンボはおなかを上になって、おしりと足だけが水面に出ていて、頭の方は水の中にしずんでいます。だから泳ぐときは水の中を背泳ぎのように進んでいきます。そんなおもしろい泳ぎ方をするマツモムシですが、5年生のころ、校長先生の、いや校長先生たちのライバルだったマツモムシがいたのです。今日はそんな1匹のマツモムシと、校長先生たちとの「たたかい」について、お話ししたいと思います。



前にもお話したように、校長先生は小さいころから、生き物が大好きでした。夏になれば、広い原っぱで大きなトノサマバッタやショウリョウバッタなどを追いかけたり、朝は暗いうちから、近くの林に、カブトムシやクワガタをとりに行ったりしていました。水の中にいる虫も好きで、近くの小さい池や水たまりなどにいる、ミズカマキリやゲンゴロウ、タイコウチなどをつかまえては、家でかかっていました。校長先生の中で、水にいる虫の中で「王様」と思っているタガメはなかなか見つからず、それに似ているけど、けっこうつかまえることができたタイコウチは校長先生のお気に入りでした。また身体の横に黄色いラインが入っているゲンゴロウもお気に入りでその大きさや身体のとやがきれいな虫でした。ミズカマキリはよく学校のプールにいました。プールの授業があって、プールサイドに行くと、プールの中にミズカマキリがよくいたものでした。校長先生たち、わんぱく坊主は、先生たちのお話を聞きながらも、準備運動をしながらも、目はミズカマキリから離れません。準備運動が終わり、プールに入ると、真っ先にミズカマキリをつかまえに行くので、よく先生に怒られていたように思います。いけない子供でしたね。

そんな中、マツモムシはアメンボのようにぜんぜんめずらしくない虫でした。水たまりにもプールにも当たり前のようにいたので、あまり見向きもしませんでした。でも、ある1匹のマツモムシと出会ってからは、その手ごわいマツモムシがライバルとなったのです。

そのマツモムシは、校長先生のうちから中山小学校までの通学路のわきにある大きな水たまりにいたとても大きなマツモムシでした。そこら辺にいるマツモムシは小さくて色が灰色っぽい感じだったので、そのマツモムシは色が黒々としていて、とにかく大きかったのです。初めて見るような大きさだったので、虫好きの校長先生はすぐにつかまえたくまりました。近くにいるとき、つかまえようと近づいてみるのですが、そのマツモムシはとてもすばしっこくて、人の気配を感じると、すぐに別のところに泳いでいってしまうのです。そのマツモムシがいた水たまりは、おそらく地下水がわき出ているようなところでいつも水がある水たまりだったので、わりと深く、なかなか真ん中までは行けないような気がしていました。なので、そのマツモムシが水たまりのまわりの方にいるときにチャンスなのですが、その日は、なかなかつかまえることができませんでした。このときから、校長先生とライバル、マツモムシのたたかいは始まったのです。

そのマツモムシとのたたかいは何日間だったかはおぼえていません。その水たまりをすみかのようにしているそのマツモムシをとるのに、とても苦勞をした記憶があります。はじめのころは、校長先生が一人でつかまえようとしていましたが、齒が立たず、一緒に帰る友達と一緒につかまえようとしたのですが、やっぱりその「りこうな」マツモムシはつけいるすきを与えてくれませんでした。まるで5年生のみなさんが国語で勉強している「大造じいさんとがん」に出てくるがんの「残雪」のように、なかなかつかまえられなかったのです。

そこで、校長先生はある作戦を考えました。同級生だけでは人数が足りなかったので、校長先生は学校で家の近くに住む4年生や6年生の友達にも声をかけて、学校の帰りに、そのライバルのマツモムシがすむ水たまりに集合することにしたのです。たくさん的人数で水たまりを囲み、マツモムシを追い込みながら、つかまえようという作戦です。何人か、5年生以外の人も集まってくれて、マツモムシとのたたかいは始まりました。どれくらい的人数かはおぼえていませんが、校長先生の記憶では、その水たまりは、教室の半分くらいの大きさのイメージなので、その水たまりをくるっと囲めるくらい的人数でした。

ライバルのマツモムシは、やはりその時も水たまりの上にゆうゆうと浮かんでいました。校長先生たちがその池を取り囲んでも全く恐れていないようでした。いよいよたたかいは始まりました。集まった友達は木の枝を持って水をジャブジャブたたいたり、石を持ってマツモムシの近くに投げたりしながら、マツモムシを端の方に追いやろうとしていました。マツモムシはピュッピュッと素速く水面を動くのですが、人の近くにはなかなか近づいてきません。そんな時間がどれくらい続いたのでしょうか、なんと、校長先生に大きなチャンスが訪れたのです。気がつくとそのマツモムシが、校長先生の手の届くところにはありませんか。

校長先生は迷わず、そのライバルを水ごとわしづかみにしました。ついにライバルのマツモムシは、校長先生の手の中に入ったのです。ところが、

「いて！！」

校長先生は、思わずにぎっていたこぶしを開いてしまいました。マツモムシが校長先生の手のひらをチクッと刺したからです。刺したか、かんだかは分かりませんでしたが、するどい痛みを感じたので、手を開いてしまったのです。その瞬間、マツモムシが飛んでいくのが見えたのですが、校長先生は痛かった手のひらを見ていたので、どこに飛んで行ったかは見えていませんでした。それ以来その黒いマツモムシは見る事がなくなってしまうました。

ライバルのマツモムシに「勝てた」時間は、校長先生の手のひらにいた1秒しかありません。校長先生は、マツモムシが刺すことも飛べることも知りませんでしたが、その小さなライバルは校長先生よりも一枚上手だったのだと思います。人間や動物に比べれば小さい生き物ですが、自然の中で生き抜いていくための知恵などが、おのずと身につけているのでしょう。

たった1匹のマツモムシに、校長先生とその仲間が挑んだ数日間。今、考えるととてもくだらないことかもしれませんが、そんな小さな虫に夢中になったことは、その虫にあこがれがあったからなのだと思います。「たたかい」と書いていますが、その虫が好きだからこそ近づいてみたい、そんな気持ちがあったのだらうなと思います。あのマツモムシが校長先生の手のひらから逃げなかったら、もしかして、あのマツモムシを飼っていたのかもしれませんが、今となっては、どこかへ飛んでいってしまったことはよかったのではないかと考えています。

現在はその場所もうたくさんのおうちが建てられています。50年近く経つと、全く様子が変わっていますが、今でもその近くを通るときに、あのマツモムシの姿と右の手のひらの痛かった感触を思い出すときがあるのです。それとともに、たかが1匹のマツモムシを捕るということに夢中になった私を含めた友達とのなつかしい友情が蘇ってきます。その中で今は数人しか連絡が取れませんが、楽しかった思い出はいつまでもみんなの大切なものになっていると思います。